

ID No.	127
研究課題名	質量顕微鏡法による肝癌、食道癌バイオマーカーの探索
研究代表者	瀬藤 光利 （浜松医科大学・教授）
研究組織 受入教員 研究分担者	松田 浩一 （東京大学医科学研究所・准教授）
研究報告書	
肝癌、食道癌は日本人を含むアジア人に多く、癌の死亡原因の第4位、第6位を占めている。 肝癌患者では発症時に重篤な肝機能不全を合併しているものが多く、また食道癌では大血管などが近接している結果、いずれも進行例では予後が不良となる。本研究では上記症例の血清を提供して頂き、イメージング質量分析法と液体クロマトグラフィー/質量分析法を組み合わせたリポミクス研究を行うものである。この探索結果から早期発見や抗癌剤治療効果判定に有用なバイオマーカーの開発が期待される。質量顕微鏡法によるリポミクスで発見した3種の脂質分子を1測定で迅速に定量する系を構築した。バイオバンクジャパンから提供された血清サンプルの中から比較対象として適する80程度を選定し、構築した系を用いてそれらについて解析を行った。現在再現性を確認中である。	